

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2021年3月23日

アンケート期間:2021年2月1日～2021年3月20日

事業所名 こもれび第5 保護者等数(児童数) 24 回収数 24 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3		6		スペースは確保しています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		5		適切です。契約時にもお伝えしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1		12		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23			1		
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	2		2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	3	2	2	17		コロナ中の為行っていません。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19			7	分からないことを聞くと直ぐに調べていただきました。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	1		3		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	6	1	2	現状としてコロナもあり仕方ないと思う	面談についてはコロナ中ですので停止しています。連絡帳等で行っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	3	8	現状としてコロナもあり仕方ないと思う・コロナなので仕方ないですね	コロナが落ち着いて体制が整い次第行います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1		7		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			3	連絡帳にて様子を伝えていただいている	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22			2		月間スケジュールを配布しています
	14 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	17			7		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	10			14		契約時に説明を行っている
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12			12		年2回の防災訓練の他、2か月に1度活動にて避難訓練を行いお便りにて伝えていきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23			1		ありがとうございます
	18 事業所の支援に満足しているか	24				いつもありがとうございます	ありがとうございます

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2021年3月3日

公表: 2021年3月23日

事業所名 こもれび第5

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者が公開の認識をしていない方が多少いらっしゃるので伝えていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月1回程度研修を行い、勉強会を週1日で行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		就労に向けてのプログラムを多く取り入れている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう日々職員間で話し合い改善している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で行っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援員や学校と連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		保護者を通じてのやり取りしか行っていない。今後は保護者と話し合っていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		月や週の予定表の交換を行ったり問題などある場合は情報交換を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		年2回ぶどう狩り、BBQ等で交流を図っている。	コロナの影響で現在は休止している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			コロナの影響で現在は休止している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、連絡帳を通じて保護者とやり取りを行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		受け身が多いのでこちらからも保護者への声掛けをしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		そうした場合、相談支援員や学校への連絡も速やかにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		今後は定期的に行っていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	訓練は行っている。	保護者への報告をきちんと行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災訓練は年2回行い、活動で2か月に1度避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートへの記入の義務付け。連絡帳への記入の義務付け。お薬手帳の提出	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー、とろみ食、刻み食などに対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日の夕礼で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を本部主導で受けている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。